

# 松江市 報道提供資料

令和5年12月15日

## 件名

「松江市公園のあり方提言書」の市長提出について

## 内容

将来にわたる公園のあり方を検討するために設置した「松江市における公園のあり方協議会」の小林久高委員長(島根大学准教授)から、「公園のあり方に関する提言書」を松江市長に提出します。

と き 令和5年12月21日(木)8:40~9:10

ところ 新庁舎(第1期棟)4階 応接室1

## 注目点

令和4年7月から約1年半、市民公募を含む11人の委員が7回の協議会で議論を重ねた成果を、提言書として松江市長に提出されます。この提言書を受けて、本市はR6年3月までに(仮称)「公園のあり方方針書」を策定します。

これは、本市として初めての取り組みになります。

## 【問い合わせ】

都市整備部 公園緑地課

担当：公園整備係 綾仁、石倉、高木

電話：0852-55-5369

# 松江市公園のあり方提言書

---

みんなで創る  
「行きたくなる公園」の魅力

## ◆「公園のあり方」協議会の経過

第1回 R4.7.14

- ◆松江市内の公園の状況と課題
- ◆利用者調査等

第2回 R4.10.4・松江市内の公園（視察）

第3回 R4.12.15

- ◆第2回協議会における公園視察の感想
- ◆web公園アンケート等結果の中間報告
- ◆子育て支援センター職員への聴き取り調査結果
- ◆公園づくり計画の方向性

第4回 R5.2.27

- ◆主要な公園の将来像
- ◆モデル地区【川津・持田・朝酌】の将来像
- ◆あり方検討の全体スケジュール案
- ◆講演：広場ニスト山下裕子さん

第5回 R5.6.6

- ◆公園づくりの方向性
- ◆分類別の公園の将来像
- ◆公園のあり方に関する提言書骨子（案）

第6回 R5.8.30

- ◆松江市公園のあり方提言書（素案）
- ◆今後の進め方

第7回 R5.11.22

- ◆松江市公園のあり方提言書（案）
- ◆提言書の提出時期等について
- ◆公園のあり方整備方針書（素案）について



## ◆提言書骨子

1. 公園のあり方に関する提言書について
  - (1) 提言の目的
  - (2) 提言の概要
  
2. 公園の整備と維持管理
  - (1) 公園の整備に係る基本的な考え方
  - (2) 維持管理・利活用手法の検討
  
3. 公園の今後のあり方
  - (1) 主要な公園の分布状況と将来像
  - (2) 地域の公園の分布状況と将来像
  
4. まとめ

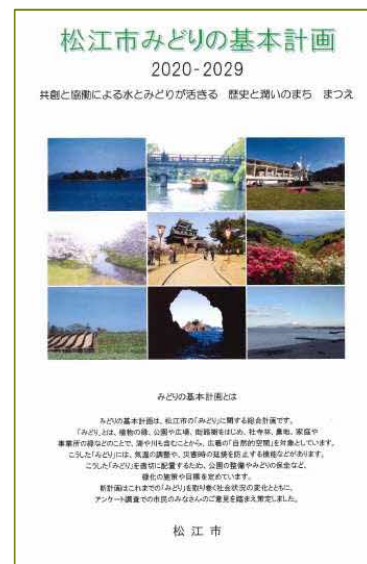


# 提言の目的

- 松江市の公園は「松江市みどりの基本計画」で整備や管理の方針を定めています。
- 将来にわたる公園のあり方を検討し、将来も利用したくなる「魅力的な公園」「利用しやすい公園」とするため、みどりの基本計画に基づく「公園づくり方針書」を策定します。
- 公園のあり方協議会は「公園づくり方針書」策定のための提言を行います。

## ○提言を行う上での4つの視点

- ①公園に特徴を持たせる
- ②隣接する公園同士の機能を分担させる
- ③公園と地域を連携させる
- ④公園を使いこなす



## 提言の概要

《将来も利用したくなる公園を目指すための方向性を4つに分類》

【定義①】 目的や魅力を重点化・最大化する公園

【定義②】 機能転換・分担を検討していく公園

【定義③】 地域のニーズを踏まえ現状を維持していく公園

【定義④】 廃止を検討する公園

## あり方検討の全体スケジュール案

	R5年度			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
公園のあり方協議会	<p><b>第5回</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要公園の将来像まとめ</li> <li>・地域別の公園将来像</li> </ul>	<p><b>第6回</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園のあり方提言書素案</li> </ul>	<p><b>第7回</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園のあり方提言書まとめ</li> </ul> <p>提言書の提出</p>	<p><b>第8回</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園整備方針書素案の確認</li> </ul>
(仮称) 公園のあり方方針書の策定			<p>素案策定</p> <p>代表的な公園の再整備カルテ作成 (松江湖畔公園等)</p>	<p>方針書策定</p> <p>パブコメ (2月中)</p>